

4 東京法学院院長の更任及び送迎会

〔『法学新報』第二号 明治二十四年五月二十五日〕

○東京法学院々長の更任及び送迎会

「はりすとる」法学士増嶋六一郎氏は久しく法学院長の地位に在り同院の爲めには非常なる力を悉されたるが代言事業多忙の

為め今度院長の職を辞せられたるを以て法学博士菊池武夫氏を
其後任に推撰したりと謂ふ右に就き同院の講師卒業生々徒二千
余名の人々は去る十日午後二時より浅草鷗遊館に於て新旧両院
長送迎会を兼ね講師土方寧氏帰朝の祝宴を開かれたり此日式場
最も厳めしく秩序整然の間に之を挙行し先づ發起人総代として
的場平治氏祝辞を述べ次に花井卓藏氏は院友会総代として祝辞
を述べ終りに菊池、増嶋、土方三氏の性行氣質を評し併せて三
氏に対する希望を述べ菊池新院長、増嶋旧院長、土方講師の答
辞あり山田喜之助、朝倉外茂鐵外数氏も亦各一場の演説をなし
午後四時式全く畢り更に樓上に於て宴会を開き満顔紅を潮して
各帰途に就きたるは午後八時頃なりし